

2011年4月15日

# 今月のおすすめメニュー

No  
Image



『宇宙より地球へ 惑星に棲む君への手紙』

野口 聡一 || 著 大和書房 538.9 / 所蔵館:中央館

日本人:野口聡一さんは、2009年12月から2010年6月の163日間、宇宙にいました。

ソユーズロケットで地球を発ち、国際宇宙ステーションというところで生活をしながら、お仕事をしていました。

野口さんの語る宇宙での出来事や、「生命体としてのリアルな地球」のことなどが書かれています。



『はやぶさ、そうまでして君は

生みの親がはじめて明かすプロジェクト秘話』

川口 淳一郎 || 著 宝島社 538.9カ 所蔵館:中央館

2010年6月、小惑星探査機「はやぶさ」は、長い宇宙での冒険から地球に帰ってきました。

探査機が、地球から3億キロ離れた小惑星に飛んでいき、その星の物質を採取して地球に持ち帰るといふ、人類初のミッションを成しとげたのです。

そのプロジェクトのリーダー:川口淳一郎さんが、日本から皆で「はやぶさ」の冒険を支えた模様を伝えます。

けなげなはやぶさくんの結末から、希望と勇気を受け継ごう。

No  
Image

